

三浦市週休2日制確保モデル工事実施要領 (建築工事・電気設備工事・機械設備工事)

(趣旨)

第1条 この要領は、公共工事の品質確保の促進に関する法律の趣旨に基づき、建設業における担い手の確保を図るための取組として、三浦市が発注する建築工事・電気設備工事・機械設備工事の工事現場における週休2日制を確保するモデル工事（以下、「モデル工事」という。）を実施するために必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要領において、次に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 通期の週休2日

工事現場において、対象期間内で4週8休以上の現場閉所日又は現場休息日（以下「現場閉所日等」という。）を設けることをいう。

(2) 月単位の週休2日

通期の週休2日を達成し、かつ対象期間内の全ての月で4週8休以上の現場閉所日を設けることをいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では4週8休以上に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所日を設けている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。

なお、現場閉所日等を原則として土曜日・日曜日としない場合においては、上記の「土曜日・日曜日」を受発注者間の協議により変更できるものとする。

(3) 完全週休2日

月単位の週休2日を達成し、かつ土曜日と日曜日も作業を実施しないことをいう。なお、受注者が降雨・降雪等による工程調整に伴い、土曜日や日曜日に作業を実施した場合には、完全週休2日として扱わないものとする。

(4) 4週8休以上

対象期間内の現場閉所日等の日数の割合（以下「現場閉所（現場休息）率」という。）が28.5%（8日/28日）以上となる状態をいう。なお、現場閉所（現場休息）率の算出において、現場休息の日数には現場閉所の日数を含むものとする。

(5) 現場着手日

現場事務所の設置、起工測量、資機材の搬入、仮設工事等を開始した日をいう。

(6) 現場完成日

現場事務所の撤去、後片付け、清掃等の作業が全て完了した日をいう。

(7) 対象期間

モデル工事において、週休2日に取り組む期間のことであり、現場着手日から現場完成日までの期間をいう。

ただし、年末年始休暇6日間及び夏季休暇3日間はあらかじめ対象期間から除くこととする。

また、現場作業を伴わない工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間、受注者の責に因らない現場作業等を発注者が認めた期間については、その都度、監督員と受注者で協議し、対象期間から除くこととする。

(8) 現場閉所日

工事現場において、一日を通して、現場事務所での事務処理も含む一切の作業を実施しない日をいう。ただし、現場管理上必要な保安等の巡回パトロール、通行規制に係る交通誘導、機器類の保守点検等は作業から除くこととする。

なお、降雨・降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めることができるものとする。

(9) 現場休息日

分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、工事現場において、一日を通して、現場事務所での事務処理も含む一切の作業を実施しない日をいう。

なお、保安等の巡回パトロール等及び降雨・降雪等の予定外の現場休息日の扱いは、前号と同様とする。

(発注方式)

第3条 発注方式は、次のいずれかの方式とする。

なお、一つの工事現場で複数の工事が分離発注される場合は、各発注工事単位で週休2日に取り組むこととするが、原則として全ての工事について同一の方式を選択する。

(1) 発注者指定型

発注者が、週休2日に取り組むことを指定する方式をいう。

(2) 受注者希望型

受注者が、週休2日に取り組むか否かを選択できる方式をいう。

(対象工事)

第4条 モデル工事の対象となる工事は、設計金額が130万円(税込)以上の市が選定した工事である原則、発注者指定型とする。

なお、やむを得ない事情により発注者指定型とすることが適当でないと発注者が判断した場合は、受注者希望型とすることができる。

ただし、次の条件のいずれかに該当する工事はモデル工事の対象としない。

- (1) 社会的要請等により早期工事完成が望まれる工事
- (2) 災害復旧工事等、緊急を要する工事
- (3) 作業可能期間が限られている等の工期に厳しい制限がある工事
- (4) その他、対応が困難と発注者が判断した工事

(発注者指定型によるモデル工事の実施)

第5条 発注者指定型によるモデル工事の実施にあたっては、次の各号に取り組むものとする。

- (1) 受発注者は、施工当初段階において、工期全体に影響を与える事項について情報共有することとする。また、分離発注工事の受注者は、受注者間で協力し、工事の進捗に影響が出ないよう現場休息の予定日を調整したうえで「実工程表」を作成することとする。
- (2) 受注者は、計画工程を示した週間工程表又は月間工程表を監督員に提出する。
- (3) 受注者は、当月分の「現場閉所(現場休息)実績報告書」(別紙1)を、翌月の5日までに監督員に提出する。ただし、4月分及び12月分については翌月の10日までに監督員に提出するものとする。
- (4) 受注者は、原則として、工事完成届提出日の30日前(設計金額(税込み)が2億円以上の工事は45日前)までに、最終月の「現場閉所(現場休息)実績報告書」(別紙1)及び対象期間全体の「現場閉所(現場休息)履行報告書」(別紙2)を作成し、監督員へ提出する。
- (5) 受注者は、公衆の見やすい場所に、モデル工事である旨を明示する。記載内容は「記載内容の例」(別紙4)を基本とし、大きさはA3サイズ以上とする。

2 当初の設計金額において、週休2日制確保モデル工事実施要領補足事項(建築工事・電気設備工事・機械設備工事)」(以下「補足事項」という。)(別添)により通期の週休2日の経費補正を行う。

月単位の週休2日の現場閉所を達成した場合には、工事請負契約約款第24条の規定に基づき請負代金額を増額変更する。また、通期の週休2日の現場閉所が達成できなかった場合には、工事請負契約約款第24条の規定に基づき請負代金額のうち当該補正分を減額変更する。

3 週休2日を達成した場合には、「補足事項」(別添)により工事成績評定に反映する。

なお、通期の週休2日が達成できなかった場合でも減点は行わないが、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、減点するものとする。

(受注者希望型によるモデル工事の実施)

第6条 受注者希望型によるモデル工事の実施にあたっては、次の各号に取り組むものとする。

- (1) 受注者は、契約後、モデル工事の実施の同意・不同意を選択できるものとし、「週休2日制確保モデル工事実施同意(不同意)届」(別紙3)を施工計画書とあわせて発注者に提出する。
なお、不同意を選択した場合は、第2項の経費補正の実施及び第3項の工事成績評定への反映は行わないものとする。また、分離発注工事の受注者は、受注者間で協力し、工事の進捗に影響が出ないよう現場休息の予定日を調整したうえで「実工程表」を作成することとする。
- (2) 受注者は、計画工程を示した週間工程表又は月間工程表を監督員に提出する。
- (3) 受注者は、当月分の「現場閉所(現場休息)実績報告書」(別紙1)を、翌月の5日までに監督員に提出する。ただし、4月分及び12月分については翌月の10日までに監督員に提出するものとする。
- (4) 受注者は、原則として、工事完成届提出日の30日前(設計金額(税込み)が2億円以上の工事は45日前)までに、最終月の「現場閉所(現場休息)実績報告書」(別紙1)及び対象期間

全体の「現場閉所（現場休息）履行報告書」（別紙２）を作成し、監督員へ提出する。

（５）受注者は、公衆の見易い場所に、モデル工事である旨を明示する。記載内容は「記載内容の例」（別紙４）を基本とし、大きさはＡ３サイズ以上とする。

２ 現場閉所（現場休息）実績に応じて、「補足事項」（別添）により経費補正し、工事請負契約約款第 24 条の規定に基づき請負代金額を変更する。

３ 週休 2 日を達成した場合には、「補足事項」（別添）により工事成績評定に反映する。

なお、通期の週休 2 日が達成できなかった場合及び受注者が不同意を選択した場合であっても減点は行わないものとする。

（アンケートの提出）

第 7 条 受注者は、工事完了後、発注者に対してアンケートを提出するものとする。

（その他）

第 8 条 「現場閉所（現場休息）実績報告書」（別紙 1）、「現場閉所（現場休息）履行報告書」（別紙 2）の内容に疑義が生じた場合には、発注者は、受注者に疑義の内容についてヒアリング等を行うことができる。

２ 前項のヒアリングにより、その経緯・原因等を確認したうえで、虚偽が明らかになった場合は、工事成績評定の修正等の措置を行う。

附 則

この要領は、令和 7 年 4 月 1 日以降に公告するモデル工事に適用する。

三浦市週休2日制確保モデル工事実施要領補足事項 (建築工事・電気設備工事・機械設備工事)

1 経費補正の実施

(1) 発注者指定型(要領 第5条第2項 関係)の補正方法

発注者指定型によるモデル工事の当初の設計金額において、労務費(設計金額のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を下表の通期の週休2日の補正係数により補正するものとする。また、月単位の週休2日を達成した場合は、月単位の週休2日の補正係数により補正するものとする。

現場閉所(現場休息)実績	労務費補正係数
月単位の週休2日 (全月現場閉所(現場休息)率 28.5% (8日/28日)以上)	1.04
通期の週休2日 (現場閉所(現場休息)率 28.5% (8日/28日)以上)	1.02

(2) 受注者希望型(要領 第6条第2項 関係)の補正方法

交替制によるモデル工事においては、現場閉所(現場休息)実績に応じて、労務費(設計金額のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を下表の補正係数により補正するものとする。

現場閉所(現場休息)実績	労務費補正係数
月単位の週休2日 (全月現場閉所(現場休息)率 28.5% (8日/28日)以上)	1.04
通期の週休2日 (現場閉所(現場休息)率 28.5% (8日/28日)以上)	1.02

(3) 工事費の積算方法

週休2日制確保モデル工事において、現場閉所等の状況に応じ、「(4) 単価の補正方法等」に基づき労務費を補正した複合単価及び市場単価等により、設計金額のもととなる工事費の積算を行うものとする。

(4) 単価の補正方法等

工事費の積算に用いる単価の補正方法等は、以下によるものとする。

ア 複合単価

複合単価の労務単価は、公共工事設計労務単価に補正係数を乗じて補正するものとする。
なお、交通誘導警備員の労務単価についても同様に補正する。

イ 市場単価等

市場単価及び補正市場単価は、次の表A-2、表E-2及び表M-2の補正率を用いた以下の式により補正する。

【新営工事の場合】

- ・市場単価 × 新営補正率
- ・補正市場単価 × 新営補正率

【全館無人改修の場合(基準単価の算定)】

- ・市場単価 × 新営補正率
- ・補正市場単価 × 新営補正率

【執務並行改修の場合(基準補正単価の算定)】

- ・市場単価 × 改修補正率
- ・補正市場単価 × 改修補正率

(参考)

「基準単価」、「基準補正単価」とは、公共建築工事積算基準等資料第4編第1章8(3)による。

執務並行改修の場合の基準補正単価は、公共建築工事積算基準等資料第4編第1章8(3)ロ、基準補正単価の表A-1、表E-1及び表M-1の「市場単価及び補正市場単価改修補正率」によらず、表A-2、表E-2及び表M-2の改修補正率を用いた上記の式により市場単価(又は補正市場単価)を補正して算定すること。

物価資料の掲載価格(市場単価以外の材工単価)を採用する場合は、掲載価格を、次の表A-2、表E-2及び表M-2の補正率を用いた以下の式により補正する。

【新営工事の場合、全館無人改修の場合】

・物価資料の掲載価格 × 新営補正率

【執務並行改修の場合】

・物価資料の掲載価格 × 改修補正率

※ 上記単価の補正方法等によらない場合は、別に定めるものとする。

表A-2 建築工事の補正率

工 種	摘 要	月単位の週休2日		通期の週休2日	
		新営補正率	改修補正率	新営補正率	改修補正率
仮設工事	物価資料	1.03	1.03	1.01	1.01
土工事	市場単価、物価資料共通	1.02	1.02	1.01	1.01
地業工事	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
鉄筋工事	市場単価、物価資料共通	1.03	1.03	1.01	1.01
コンクリート工事	市場単価、物価資料共通	1.03	1.03	1.01	1.01
型枠工事	市場単価、物価資料共通	1.03	1.03	1.01	1.01
鉄骨工事	物価資料	1.03	1.03	1.02	1.02
既製コンクリート	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
防水工事	市場単価	1.02	1.09	1.01	1.08
防水工事（シーリング）	市場単価	1.03	1.16	1.01	1.14
防水工事	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
石工事	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
タイル工事	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
木工事	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
屋根及びとい	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
金属工事	市場単価	1.02	1.10	1.01	1.09
金属工事	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
左官工事（仕上塗材仕上）	市場単価	1.03	1.03	1.01	1.01
左官工事（仕上塗材仕上以外）	市場単価	1.03	1.17	1.01	1.16
左官工事	物価資料	1.03	1.03	1.01	1.01
建具（ガラス）	市場単価	1.02	1.11	1.01	1.10
建具（シーリング）	市場単価	1.03	1.18	1.02	1.16
建具	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
塗装工事	市場単価	1.03	1.17	1.01	1.15
塗装工事	物価資料	1.03	1.03	1.01	1.01
内外装工事	市場単価	1.03	1.14	1.01	1.13
内外装工事（ビニル系床材）	市場単価	1.02	1.09	1.01	1.08
内外装工事	物価資料	1.03	1.03	1.01	1.01
内外装工事（ビニル系床材）	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
仕上げユニット	物価資料	1.01	1.01	1.01	1.01
排水工事	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
舗装工事	物価資料	1.01	1.01	1.01	1.01
植栽及び屋上緑化	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01

※「市場単価」：市場単価及び補正市場単価、「物価資料」：物価資料の掲載価格の補正率を示す。

表E－2 電気設備工事の補正率

工 種	摘 要	月単位の週休 2 日		通期の週休 2 日	
		新営補正率	改修補正率	新営補正率	改修補正率
配管工事	電線管、2 種金属線及び同ボックス	1.03	1.21	1.01	1.19
	ケーブルラック	1.02	1.17	1.01	1.15
	位置ボックス及び位置ボックス用ボンディング	1.03	1.20	1.01	1.18
	プルボックス	1.02	1.15	1.01	1.13
	プルボックス用接地端子	1.00	1.00	1.00	1.00
	防火区画貫通処理 ケーブルラック用（壁・床）	1.02	1.16	1.01	1.14
	防火区画貫通処理 金属管・丸型用	1.01	1.06	1.01	1.05
	（電動機その他接続材工事） 金属製可とう電線管	1.02	1.17	1.01	1.15
配線工事	600V 絶縁電線及び 600V 絶縁ケーブル	1.03	1.19	1.01	1.17
接地工事	（接地極工事） 銅板式、銅覆銅棒、 接地極埋設票（金属製）	1.02	1.02	1.01	1.01

表M－2 機械設備工事の補正率

工 種	摘 要	月単位の週休 2 日		通期の週休 2 日	
		新営補正率	改修補正率	新営補正率	改修補正率
保温工事	配管用、ダクト用及び消音内貼	1.03	1.17	1.01	1.15
ダクト設備	低圧ダクト、排煙ダクト及び低圧チャンパー類	1.03	1.17	1.01	1.15
ダクト付属品	既製品ボックス、制気口、ダンパー等の取付手間のみ	1.04	1.24	1.02	1.22
衛生器具設備 （ユニットを除く）	取付手間のみ	1.04	1.24	1.02	1.22

2 工事成績評定への反映（要領 第5条第3項 及び第6条第3項 関係）

現場閉所（現場休息）実績に応じて、工事成績評定で下表の加点や減点を行うものとする。

現場閉所（現場休息）実績	加点
完全週休 2 日	2 点
月単位の週休 2 日・通期の週休 2 日	1 点

現場閉所（現場休息）実績（※ 発注者指定型に限る）	減点
明らかに週休 2 日に取り組む姿勢が見られなかった場合	－ 1 点

別紙 1

年 月 日 ~ 年 月 日

履行確認	
対象日数	日
現場閉所(現場休息)日数	日
現場閉所率	%

月単位の週休2日※
☐ 達成 ☐ 未達成

完全週休 2 日※
☐ 完全週休 2 日達成 ☐ 未達成

ページ

8

年 月 日

三浦市長

現場閉所(現場休息)履行報告書

商号又は名称 _____

受注者 代表者役職及び氏名 _____

所 在 地 _____

電 話 番 号 _____

現 場 代 理 人 _____

主任(監理)技術者 _____

次のとおり、週休2日制確保モデル工事の実施結果を報告します。

工 事 名	
工 事 場 所	
契 約 工 期	年 月 日 ～ 年 月 日
対 象 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日
達 成 状 況	

詳細は裏面のとおりです。

(注) 2部作成し、各々保管する。

(裏面)

[illegible]

週休 2 日制確保モデル工事実施同意(不同意)届

年 月 日

三浦市長

所在地

受注者 商号又は名称

代表者役職及び氏名

次のとおり週休 2 日制確保モデル工事の実施について回答します。

工 事 名	
週休 2 日の実施	☐ 同意します。(「月単位の週休 2 日」目標) ☐ 同意しません。

記 載 内 容 の 例

週休 2 日制に取り組む工事

この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、
週休 2 日の確保に取り組む工事です。

発注者：三浦市役所 ○○課

受注者：